

当センターにおける腋窩リンパ節郭清患者のリンパ浮腫リスク要因に関する調査に関する研究 第2報

1. 研究の対象

2018年4月～2022年5月まで、当センター乳がん手術で腋窩リンパ郭清を受け・看護師からリンパ浮腫予防指導を受けた患者約300名（再発・死亡症例は除く）

2. 研究目的・方法

■研究目的：乳がん手術で腋窩リンパ節郭清を行った場合、患側上肢などに続発性リンパ浮腫が発症するリスクがある。当センターでは、腋窩リンパ郭清を行った患者に対し、リンパ浮腫予防対策について乳がん看護認定看護師が入院中と退院後に説明を行っている。しかしリンパ浮腫予防に対する指導を行っても、リンパ浮腫が発症した事例がある。このようなリンパ浮腫が発症した患者の患者背景・治療内容、傾向・要因について2017年1年間の対象患者62名に対し調査を行った。しかし、症例数や観察期間が少なかったため、十分な検討ではなかったと考える。期間を3年間に延長し、約300人の調査を行なう事で信頼性を高めることができると考える。よって、これまでの指導では発症を予防できなかった患者のリスク要因を抽出し、結果からリンパ浮腫ハイリスク患者に対しての今後のリンパ浮腫予防対策や術後のフォロー体制などを構築し、患者のQOL向上に寄与する。

■研究方法：当センターで腋窩リンパ節郭清を行った患者の診療録診療録から以下の情報を収集

①リンパ浮腫の出現の有無

②患者背景（仕事の有無・BMI・年齢・治療内容：薬物療法・放射線治療他）

■データ分析方法：量的データ

リンパ浮腫発症患者と発症しなかった患者の患者背景の比較

リンパ浮腫発症患者の患者背景の比較

（ χ^2 乗検定 フィッシャー確立検定 ほか）

■研究期間：倫理審査委員会許可日から2024年7月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：当センターで腋窩リンパ節郭清を行った患者の診療録から

①リンパ浮腫の出現の有無

②患者背景（仕事の有無・BMI・年齢・治療内容：薬物療法・放射線治療他）

試料： なし

4. 研究に用いる試料・情報の取得方法

電子カルテから3の情報を取得します。

5. 試料・情報の公開

本研究から得られた結果は、国内外の学会や論文で発表する場合があります、発表にあたっては、個人が特定できないよう加工したうえで行うため、個人を識別する情報が、外部へ提供されることはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

電話番号：048-722-1111（代表）

研究責任者：埼玉県立がんセンター 看護部 外来 山本 幸恵

-----以上